



平成31年1月1日
有松まちづくりの会

新年のご挨拶 有松まちづくりの会 会長 竹田嘉兵衛

明けましておめでとうございます。

迎える年は有松の未来を開く時代の幕開けにする様、頑張りたいものです。その為に先ずどのような町づくりをしたいのか、皆の智恵を集めてその方向性を決めていきたいものです。



住民の誇りである美しい町並みとお祭り、それを支えつづける絞りや観光産業そして文化が身近にあり、静かな中にもエキサイティングな人生を送れる町「有松」を皆で作り上げましょう。



竹田嘉兵衛会長

有松まちづくりの会

○第5回 日本遺産推進協議会(12月6日)

名古屋市歴まち室から出された日本遺産申請書(案)が承認されました。

- ・タイトルは絞りを中心に据えた「日本一の絞りの産地 藍の町 有松」とした。
- ・ストーリーは「どこまでも広がる藍色の空の下、藍で染められた暖簾が風にゆれる、絞りの町「有松」には、江戸時代の浮世絵さながらの風景が今も静かに広がっています。」と書かれています。
- ・将来ビジョンとして、次の3点があげられています。
 - ①「絞りのメッカ」である有松の魅力を高め、更なるイメージアップを図る。
 - ②かつて「東海道中で一番美しいまち」と称された町並みの保存と修景を進め、観光客を誘引する仕掛け作りを工夫し、地元住民も観光客も楽しく交流できるまちづくりを進める。
 - ③山車祭り等の伝統文化を守り、住民の社会参加・人材づくりを進め、地域の活性化に資する。

○第1回東海町並みゼミ伊勢大会の報告 二見浦(12月8日)

町並み保存運動の活性化のため、東海ブロックの大会が初めて伊勢市二見浦で開かれ、有松まちづくりの会からも3名参加しました。始めに、大会会場でもある賓日館(ひんじつかん)の保存活動に取り組んでいる「賓日館の会」より、開館以来15年に渡る公開と活用の報告がありました。その後各地からの報告として、飛騨市・犬山市・有松・関宿・松阪市・伊勢河崎での取り組みの発表がありました。

大会に先立ち、賓日館の見学会に参加しました。皇族方がよく利用される宿泊施設だけあって、建物の細部に至るまで贅を尽くした造りになっていました。また、近くの夫婦岩で行われていた大注連縄張替の神事を見学することもできました。



夫婦岩大注連縄張替

有松桶狭間観光振興協議会総会で規約と組織の大幅改訂(12月18日)

発足から14年、第15回総会が開催され、事業・収支報告に続き規約の改正、役員構成と今後の運営が審議の後、承認されました。設立当初の地域づくりワークショップや井戸端会議に始まり、3年間の国土交通省実践プランを遂行するなかで、有松・桶狭間の観光資源お宝カルテや3つのみち(戦のみち、絞のみち、町並みのみち)の設定ができました。その後は観光案内看板設置、有松一里塚の復元、有松東海道無電柱化、有松開村400年記念事業、桶狭間の戦い450年事業、地蔵池・大池桜まつりなど多くの事業に取り組んできました。平成29年度から名古屋市 の指導と支援のもと、観光推進事業の自走化を目指して有松・桶狭間両地区にNPO法人が設立され、活動開始となりましたので、本会の役割と組織の見直しが行われました。主な改正内容は次のとおりです。

- ・会員:有松・桶狭間地区内構成団体の代表者及び関係者のみとし、一般個人会員は含めない。
- ・目的:会員相互の親睦をはかり、有松桶狭間地区の大同団結と観光まちづくりを推進する。
- ・事業:有松桶狭間地域内の意見集約・情報交換、行政等への窓口機能に特化し、本会自体の事業は行わない。
- ・役員会:構成団体の情報交換・情報共有の場とし、毎月から必要に応じて開催することに変更する。

なお新会長には高瀬喜祥氏が就任されました。

しほり職で南埜ヤエ子さんが表彰

有松愛宕在住の南埜ヤエ子さんが、2018年度の名古屋市技能功労者として表彰されました。絞りを習い始めた時、「一つの技を習得して頑張りなさい」と先生に言われ、以来30年にわたる努力の結果「羅仙鹿の子絞り」の第一人者として認められました。

この絞りは、布をつまんで糸をらせん状に巻き付けていく技法です。有松絞りは、かつて100種類以上の技法があり一人一芸が基本です。南埜さんは「この先も絞りの技を磨いていきたい」と、意欲を燃やされていました。最近では、後輩たちからアドバイスを求められ、次世代の育成にも力を注いでおられます。



南埜ヤエ子さん

岡家住宅特別公開と町並みツアー (12月1.2日)

有松の絞問屋の建築形態をよく残し、歴史的にも貴重な建物である岡家住宅の自由見学と、併せて町並みツアーが2日間にわたって行われました。公開にあたっては1階の格子戸を半分ほどを開放し、店頭販売をしていた江戸期の店構えが再現されました。錦絵さながらの光景を見た参加者は、こぞって感嘆の声をあげていました。

町並みや商家の特徴の紹介パネルに見入る参加者。岡家内部の説明に丁寧な対応をされるスタッフ。さらに有松あないびとによる町並みツアーにも大勢の方が参加され、伝統ある建物の残る町並み散策を満喫されていました。行き届いたこの度のイベントに参加者の皆さんは大満足の様子でした。

2日間の岡家住宅の見学者数は422名、町並みツアー参加者は125名に及びました。



見学の様子



町並みツアー出発の時

町並み保存シンポジウム(12月2日)

三重大学の浅野聡先生をお迎えして、「歴史的町並みを生かしたまちづくりのこれから」をテーマに講演とシンポジウムが行われました。講演では、人口減少・高齢化社会に向かう日本には徒歩圏内で生活できる市街地が求められていて、歴史的町並みの多くは近世に形作られたコンパクトなまちであり、これから必要とされるまちでもあると話されていました。そして、有松のまちづくりへの提言として、「新しい有松絞りの製品作り」「周囲の地区との連携」「次世代の参加を促すまちづくりの学習」「外国人観光客及び防災への対応」を示されました。

続くシンポジウムでは、有松・関宿・犬山のまちづくり関係者により、「観光化と暮らし」「次世代への継承」をテーマにディスカッションが行われました。その中で有松まちづくりの会の会長でもある竹田嘉兵衛氏は、建物の保存と同時に守るべきは絞りの伝統の技であって、そのため今は後継者育成に努めている旨を力説されました。



パネルディスカッション

有松一里塚の除草・清掃(12月4日)

有松の西の玄関口、有松一里塚の除草と清掃が有松まちづくりの会と有松あないびとの会のメンバーで行われました。除草や清掃は不定期の活動ですがこの度は師走に実施ということで、図らずも新しい年を迎えるための大掃除になりました。

草やゴミ以外にもペットボトルや弁当の空箱なども多数放置されており、45リットルのゴミ袋がいくつもできました。一里塚での除草・清掃江戸の昔から、有松の町は清潔で美しいと評判です。今でもそうです。各地からお見えになる方々に、評判通り有松は清潔で美しい町だと実感していただくためにも、今後は除草や清掃に定期的な活動が求められます。



一里塚での除草・清掃

桶狭間古戦場散策会(12月9日)

緑区ルネサンスフォーラム主催の散策会が好天の中行われました。参加者30名強で、親子連れも3組。回を重ねると年齢層の広がりを感じます。有松駅を出発し東海道を横切って高根山へ。この坂を登り切ると、後はなだらかな起伏が続きます。桶狭間古戦場保存会の方の丁寧な説明に耳を傾けながら、一行はおけはざま山へ。住宅が密集する中、提示された昔の写真に往時を偲びました。「地形から信長公記の記述が納得いくのでは・・・」との説明を聞きながら古戦場公園へ到着。そこでは信長・義元の銅像に見入っている人も見られました。参加者からは「また、参加したい」との声が聞かれました。



高根山にて

第6回有松ゼミナール ～伝統文化を守る心の醸成～（12月9日）

NPO法人コンソーシアム有松が継続的に企画している有松ゼミナールの第6回が、定員を大幅に上回る42名の参加で開催されました。町並み歩きに続いて講演された小川芳範氏（一宮商業高校校長）は、愛知県の文化財保護室に勤務されていたこともあり、町家の修復や、来訪者の受け入れ、地元の態勢などについて具体的な提言をされました。なかでも地域コミュニティが「町並みはわたしが守る」の意識を常に持つことが、より良い町並みを創ることに繋がるという言葉が心に残りました。



竹田家三番蔵にて

有松の秋葉社五社の火まつり(12月16日)

有松の秋葉社五社のうち有松秋葉社（祇園寺内）・西町秋葉社（弘法堂境内）・中町秋葉社（中町地蔵堂境内）の三社の火まつりが秋葉山本宮の例大祭の日に合わせて、12月16日に行われました。

有松秋葉社では、午後7時文嶺講主催の仏事が本堂内の秋葉大権現の前で執り行なわれました。境内ではかがり火が焚かれ、参加者がお神酒をいただきながら火難だけでなく無病息災などを願っていました。西町秋葉社、中町秋葉社でも同様仏事が行われました。

松原秋葉社（境松）は既に12月9日（16日の前の日曜日）に神事が行われていました。東町秋葉社（有松中学校東）は来年の1月14日、朝の7時半から左義祭（どんど）を行います。



祇園寺の秋葉大権現

後継者育成事業修了式(12月18日)

愛知県絞工業組合による後継者育成講座の修了式が「絞りLab」で行われました。今年の修了者は11名で、5年以上の講習を経て一定の技術を習得した人だけに修了証が授与されます。修了後は組合から仕事が与えられ伝統工芸士に向け、絞りの技術を向上させます。有松には重伝建に選定された古い町並みが残されているだけでなく、絞り産業を根幹で支える伝統工芸の技が継承され息づいていることを知り心強く思いました。

平成21年10月からこの事業は始められ、今回の11名を含め29名の修了者を出しています。なお現在の受講者は49名です。県内各地からはもとより、遠くは横浜からの参加者も見えます。年齢も7割が40代。初めの3年間は、伝統工芸士の方から縫絞り・鹿の子絞り・三浦絞りの技法を月2回学びます。その後2年以上、職人になるための研鑽を積みます。

受講者からは、伝統工芸士の方が手取り足取り「できるようになるまで教えて下さった」ことへの感謝の声が聞かれました。有松の未来に光が見えてきた場面に立ち会った気がしました。



修了式

有松の魅力語る！（12月15日）

有松あないびとの会が鶴舞中央図書館にて、「あないびとが伝える有松の魅力」と題して講演会を行いました。パワーポイントで、町の歴史や町並みの見どころ、有松絞りのことなどについて、分かりやすく紹介していった。参加者は話し手のメモを取り、質問するなどして有意義な時を過ごしました。

主催：NPO法人生涯学習ネットワーク中部

協力：名古屋市鶴舞中央図書館

なびぼらの会

日本との架橋となる若者たち 有松へようこそ！（12月10日）

外務省MIRAIプログラム2018「経済・ビジネス」を学ぶ欧州26ヶ国36名の学生が校会館で有松絞り体験を行った後、有松あないびとの会で町歩きを楽しまれました。

日本の伝統文化を体験した若者たちの今後の活躍に期待しています。



有松点描祇園寺本堂の下り棟（祇園寺紋）

戦国の世が終わり、時代は徳川家を頂点に幕藩体制を確立し平和と安定へと舵を切り始めた。自ずと平和産業が台頭することになる。「絞り」はその象徴であったのかもしれない。有松では数々の絞り染めを開発し、ヒット商品を生み出した。それはやがて東海道を行き交う旅人、お伊勢参りの人々、また参勤交代の大名、さらには広重らによって描かれた浮世絵や錦絵などにより「名物有松絞り」として全国各地にその名を知られるところとなった。

このように有松は絞りで栄えた町である。有松イコール絞りである。一寒村に過ぎなかった有松に絞り産業がここまで栄えた訳には、尾張藩の絶大な庇護があったものと思われる。有松村の菩提寺といわれた祇園寺には初代尾張藩主徳川義直公、二代藩主光友公の位牌が祀られ、有松と尾張藩との深い繋がりが推察される。さて下り棟のことであるが、その先端に葵の紋が見られる。尾張藩より寺紋として許されたとのこと（住職談）。祇園寺ではこれを「祇園寺紋」と名乗っている。祇園寺を訪れた際には、本堂の大屋根の左右にある立派な下り棟を見上げてみてはいかがでしょうか。



祇園寺本堂



下り棟と葵の紋



祇園寺紋

日展東海展の開催(1月30日～2月17日)

日展東海展が愛知県美術館で開催されます。

かわら版12月号で紹介しました工藤潔先生＝有松幕山在住、桶狭間の信長像・義元像の制作者＝の東京都知事賞受賞作品「Harmony」が展示されます。

日展東海展にお出かけの方は彫刻部門の展示場もぜひお立ち寄りいただき、受賞作品をご鑑賞ください。

なお、工藤先生の受賞作品説明会が、2月1日と8日の14:00から作品の前で行われます。よろしかったら作品の説明をお聞きください。



催事・行事の予定

- ・1月1日(火) 00:00 有松天満社 開門
- ・1月1～3日 09:00 有松天満社 元旦祭
- ・1月6日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会
- ・1月11日(金) 09:00 有松中学校地域学習(現地学習)
- ・1月14日(月) 07:30 左義祭(どんど) 東町秋葉神社 東町秋葉講
〃 09:00 左義長 有松天満社境内 有松文嶺講
- ・1月16日(水) 11:00 有松あないびとの会 総会 小や町
- ・1月18日(金) 08:10 新春親睦初詣旅行 有松学区区政協力委員会
- ・1月19日(土) 13:30 緑区魅力向上・発信シンポジウム 緑文化小劇場 緑区観光推進協議会
(訪れたいまち、住みたいまちをめざして)
- ・1月20日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会
- ・1月26日(土) 09:00 消防訓練開催(文化財防火デー) 有松学区区政協力委員会
- ・1月27日(日) 07:30 かえで道清掃(中止) 有松まちづくりの会

発行責任者：竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集責任者：加藤 一成 (T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp)

編集者：伊藤総俊、成田満

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索